

## 子を他人に預ける鳥、カッコウ類研究の最前線

カッコウと言えば、他の鳥の巣に卵を産み、自分のヒナを他人に育てさせる鳥として知られています。この行動を托卵（たくらん）といい、カッコウ科の多くの鳥がこの習性を持っています。今回は日本と世界における托卵研究を紹介し、托卵という進化的にとても面白い行動の仕組みをお話ししていただきます。



**日時：11月19日（土）13:00～15:00**  
**会場：自然史博物館本館 講堂 / 参加費：無料**  
**講師：上田恵介氏（立教大学名誉教授）**  
**主催：日本野鳥の会大阪支部**

### 上田恵介氏プロフィール

専門分野 行動生態学・動物行動学・進化生態学

出身 1950年枚方市生まれ、大阪府立大学農学部73年卒業、同大学修士課程77年終了、大阪市立大学大学院理学部研究科後期博士課程85年修了

主な経歴 日本学術振興会奨励研究員、立教大学一般教育部自然科学科助教授、同大学理学部総合科学講座助教授、同大学理学部化学科助教授、同大学理学部教授、同大学理学部生命理学教授、日本動物行動学会会長、日本学術会議特任連携会員、第26回国際鳥類学会議大会会長、山階鳥類研究所客員研究員、山階鳥類研究所特任研究員、日本鳥学会会長、第19回山階芳麿賞受賞

現在 立教大学理学部生命理学科名誉教授、日本野鳥の会副会長、同評議員



### 主な著書

『行動生態学を学ぶ人に』（共訳・蒼樹書房）/ 『一夫一妻の神話—鳥の結婚社会学—』（蒼樹書房）

『鳥はなぜ集まる？—群れの行動生態学—』（東京化学同人）/ 『♂・♀のはなし—鳥—』（技報堂）

『擬態—だましあいの進化論—I・II』（編者・筑紫書館）/ 『種子散布—助け合いの進化論—I・II』（編者・筑紫書館）/ 『花・鳥・虫のしがらみ進化論—「共進化」を考える—』（筑紫書館）/ 『小学館の図鑑NEO 鳥』（共著・小学館）/ 『行動生物学辞典』（共編・東京化学同人）/

# 子を他人に預ける鳥，カッコウ類研究の最前線

## カッコウは托卵する

カッコウと言えば、他の鳥の巣に卵を産み、自分のヒナを他人に育てさせる鳥として知られています。この行動を托卵（たくらん）といい、カッコウ科の多くの鳥がこの習性を持っています。カッコウの研究は 200 年以上も昔から行なわれ、その行動や生態についてはいろいろなことがわかって来ました。カッコウは托卵研究のモデル生物と言えるでしょう。しかしヨーロッパにはカッコウ 1 種類しかいないので、これまでの托卵行動についての知識はカッコウ 1 種類だけについての偏ったものでした。

## 日本には 4 種類のカッコウ類

けれど日本にはカッコウ以外に 3 種類のカッコウ科の鳥がすんでいます。ホトトギス、ツツドリ、ジュウイチです。これらの種類はどんな托卵行動を進化させているのでしょうか。これらの鳥についての研究はこれまでほとんど行なわれていませんでした。理由としてはカッコウが草原性の鳥であるのに対し、ホトトギス、ツツドリ、ジュウイチはおもに森林にすむ鳥で、行動範囲も広く、また托卵された宿主の巣を見つけるのがとても困難な種類だったからです。

## カッコウと宿主の緊張関係

カッコウと宿主の関係は緊張をはらんでいます。それは托卵されると宿主は自分の子孫を残せないからです。それゆえ宿主はカッコウの托卵を防ごうとあの手この手の方法を進化させて来ました。その一つが宿主によるカッコウ卵の排除です。しかし宿主が托卵を見破って、托卵された卵を排除する対托卵行動を獲

得すると、カッコウは次々と宿主を変更して、宿主の防衛網を突破していきます。両者の間には熾烈な“軍拡競争”が展開しているのです。

## 富士山での調査

私たちはこのカッコウと宿主の関係を解明するために国内、国外で研究を進めて来ました。たとえばジュウイチ。ジュウイチはコルリやオオルリ、ルリビタキなどの青い鳥に托卵することが知られています。私たちのチームは富士山をフィールドに研究して来ました。その結果、ジュウイチのヒナが宿主を騙して、多くのエサを受け取ろうとする面白い行動が見つかりました。

## 熱帯地域での調査

ところで、カッコウ以外のほとんどのカッコウ科の鳥は熱帯地域に生息しています。カッコウ類の生息の中心、熱帯域にはどんなカッコウ類がいて、何をしているのだろうかというのが、次のテーマでした。まずオーストラリアの熱帯地域、そしてニューカレドニアで、テリカッコウ類の研究を行いました。

## 最先端の研究

ジュウイチの研究もテリカッコウ類の研究も、これまでの世界の托卵研究の歴史を大きく書き換える成果をあげました。ここでは世界の托卵研究をリードしつつある、日本における托卵研究を紹介し、托卵という進化的にとっても面白い行動の仕組みをお話したいと思います。

## 日本野鳥の会大阪支部からのご案内

大阪支部では創立 80 周年を記念して「鳥類目録 2016」の発行を準備しています。この目録は大阪府内で観察された野鳥のデータがカラー写真付きで収録された読み応えのあるものとなっております。この目録は大阪支部の会員全員に無料で配布される予定です。今こそ日本野鳥の会大阪支部に入会して、この目録をゲットしましょう。